

恵比寿ガーデンプレイス 「サッポロ広場」が 環境省「自然共生サイト」に認定

サッポロ不動産開発株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宮澤 高就）は、当社が運営する恵比寿ガーデンプレイス内の「サッポロ広場」において、環境省の令和6年度自然共生サイト認定事業（前期）「自然共生サイト」の認定を受けました。

◆環境省「自然共生サイト」について

「自然共生サイト」とは、ネイチャーポジティブの実現に向け、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を、環境省が認定する制度です。本制度は、2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）において、世界目標として採択された「30by30目標」（2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標）の達成に向け、2023年より開始されました。認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）」として、国際データベースに登録されます。

（参考）環境省「自然共生サイト」：<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>



（左）関東地方環境事務所：神谷所長
（右）サッポロ不動産開発：岡経営企画部長

◆サッポロ広場について

1994年の恵比寿ガーデンプレイス開業当時からあるサッポロ広場は、都会の真ん中に居ながらも自然が感じられ、「集う、憩う、つながる」を実現するような、地域にとって開かれた場所を目指し、2017年にリニューアルされました。今回の審査では、サッポロ広場が近隣の緑地と一体となり、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能が期待されることから、本認定に至りました。



認定されたサッポロ広場の様子

今回、自然共生サイトに認定された「サッポロ広場」では、周辺緑地と一体となって生態系サービスの機能を担う、都会の貴重な緑地を目指しています。当社はその運営により生物多様性の保全に努めるとともに、「まちづくり」を通じて「豊かな時間」と「豊かな空間」を創り、育むことで持続可能な地域社会の創造に貢献していきます。